

# 陸域観測技術衛星2号「だいち2号」 データ利用シンポジウム

平成27年11月17日  
内閣府宇宙戦略室審議官  
中村 雅人

## 宇宙利用による価値の実現(出口戦略)を重視

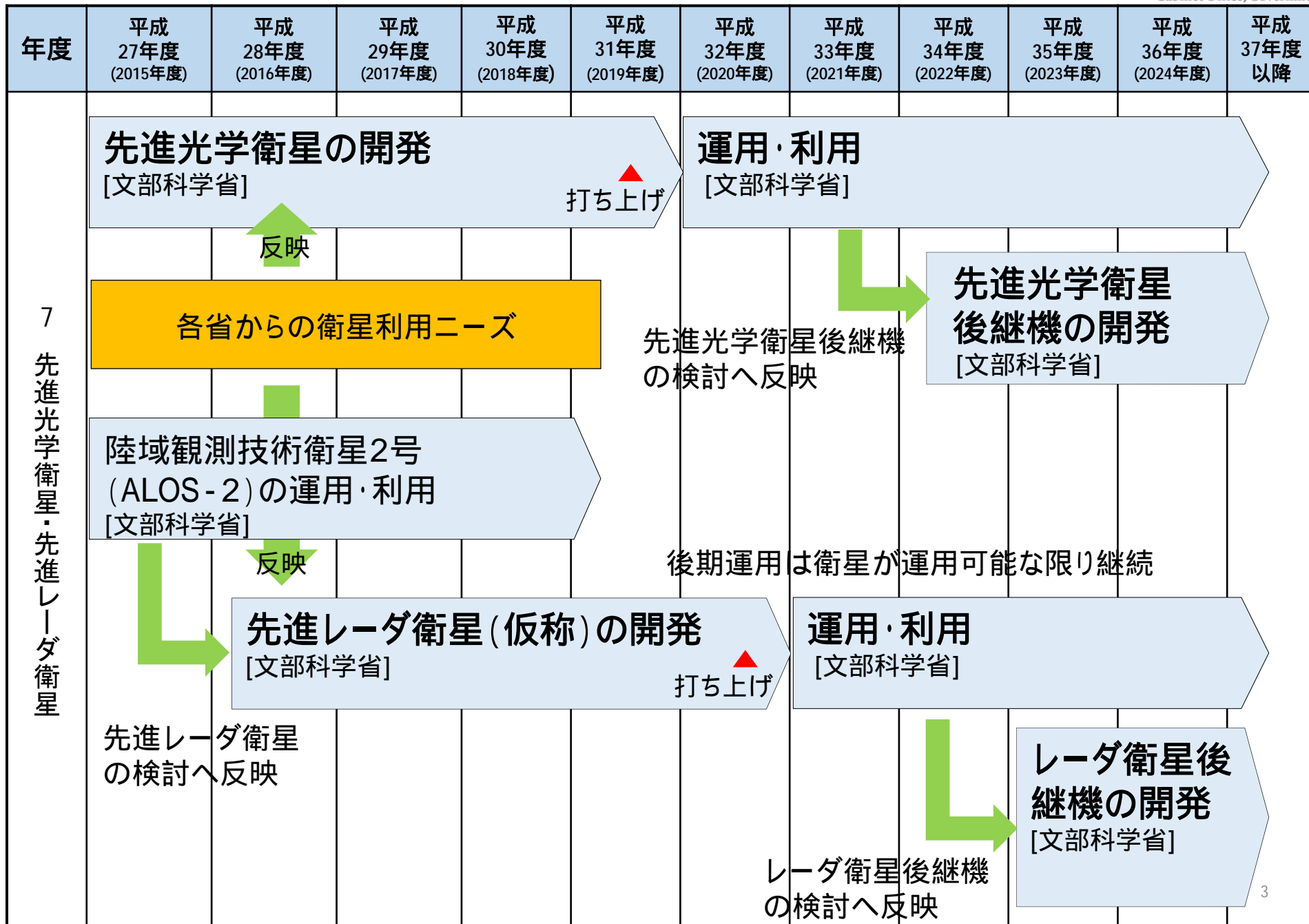
- 安全保障や産業振興等の宇宙利用ニーズを十分吸い上げ、体系的に具体化・明確化 等

## 予算配分に見合う政策効果の実現を重視

- 宇宙システムの開発利用の過程で把握された課題を共有し、原因究明等に政府全体で取組 等

## 個々の取組の達成目標を固定化せず環境変化に応じて意味のある目標に

- 計画を「本文」と「工程表」の二部構成とし、工程表は毎年、宇宙開発戦略本部において改訂 等



## 7 先進光学衛星・先進レーダ衛星

### 成果目標

【安保・民生】 宇宙安全保障の確保及び民生分野における宇宙利用の推進に資するため、我が国の技術的強みを生かした先進光学衛星及び先進レーダ衛星の開発・運用を行うとともに、これら衛星から得られたデータの積極的な利用拡大に努める。

また、切れ目なく衛星を整備するため、先進光学衛星及び先進レーダ衛星の後継機の開発・運用を行う。

### 平成27年度末までの達成状況・実績

先進光学衛星について、基本設計を実施しているところ。なお、防災関係省庁から構成される検討会等を開催し、利用ニーズを再確認した。

先進レーダ衛星について、防災関係府省庁から構成される検討会等を開催し、利用ニーズ等を確認し、開発目標を具体化した。

### 平成28年度以降の取組

防災・災害対策、国土保全・管理、食料資源・エネルギーの確保、地球規模の環境問題の解決等のニーズに応え、データ利用拡大を図るとともに、中長期視点から開発技術の安全保障用途への活用可能性を念頭に置き、先進光学衛星・先進レーダ衛星の開発に努める。